

ざいだん

NEWS



創刊号
Vol. 1

(公財)熊本県移植医療推進財団
熊本県熊本市東区長嶺南2丁目1-1
熊本赤十字病院 社会課内
令和2年2月初版発行
<http://kumaisui.jp/>

ごあいさつ

～財団設立40年を迎えて～



公益財団法人 熊本県移植医療推進財団 代表理事 福田 稠

平素より当財団の活動に対し、多岐にわたるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。まずは、当財団が2019年で40年を迎えましたことをここに報告させていただきます。1979年、財団法人 熊本県アイバンク協会が熊本県保険予防課内に設立され、1989年には熊本赤十字病院内に財団法人 熊本県角膜・腎臓バンク協会を設立、そして2013年には公益財団法人へ移行し、現在の熊本県移植医療推進財団へと名称変更して現在に至ります。

熊本県の角膜移植に関する歴史を辿りますと、アイバンク協会の設立から遡ること23年前、1956年に社会福祉法人「慈愛園」内に『熊本眼の銀行』ができたことに始まります。その後、ライオンズクラブの皆様や眼科の先生方の活発な活動が重要な契機となり、当時の県知事（沢田知事）の理解が得られたことでアイバンク協会の設立へとつながっていきました。

この40年の間、制度的にも「角膜移植に関する法律」をベースに「角膜及び腎臓の移植に関する法律」、「臓器の移植に関する法律」と角膜から他の臓器へ広がりを見せ、角膜も「眼球」という言葉で同じ法律の中に組み込まれており、日本アイバンク協会のもと全国で54のアイバンクが活動し、臓器は日本臓器移植ネットワークによりあっせんされています。

2004年、当財団では強膜採取の届け出も追加しております。ただ、眼球ごとの提供に対する一般の方々の抵抗が強く、現在熊本県では角膜のみを直接コンタクトレンズを外すような形で提供をいただくので、お顔の変化もほとんどありません。これも、ライオンズクラブからのご支援により電動トレパンを、寄附いただいたことがきっかけでした。

目が不自由である理由は、角膜だけの問題ではありません。けれども角膜移植を行うことで光を取り戻すことができる方もたくさんおられます。「献眼から角膜移植へ」これからも私たちは力を尽くして参る所存です。

今後とも、当財団のアイバンクの活動に変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

角膜移植の歴史と財団の歴史

- 1925年 ライオンズクラブ国際大会で、ヘレン・ケラーが盲人への援助を訴える
- 1956年 熊本眼の銀行誕生(社会福祉法人「慈愛園」内)
- 1958年 「角膜移植に関する法律」施行
- 1973年 人吉ライオンズクラブがアイバンク活動開始
(その後、県内各LCへ普及→本格的な幕開けとなる)
- 1975年 献眼登録開始
- 1979年 (財)熊本県アイバンク協会設立(熊本県保険予防課内)
- 1979年 「角膜及び腎臓の移植に関する法律」施行
- 1989年 (財)熊本県角膜・腎臓バンク協会設立(日赤内)
- 1997年 「臓器の移植に関する法律」施行
- 1999年 強角膜片採取用電動トレパン導入
- 2000年 組織機構の一部改正(評議員の設置)
- 2004年 強膜採取届出認可
- 2013年 公益財団法人へ移行し、熊本県移植医療推進財団へ名称変更



▲熊本市
水前寺江津湖公園
献眼者顕彰碑建立
(1988年 熊本ライオンズクラブ)



光と愛と 暖い人間愛から献眼された方に感謝を捧げる
献眼者顕彰碑 題字 工藤正孝氏

提供意思表示方法

提供の意思ができるもの

- 健康保険証
- 運転免許証
- マイナンバーカード
- 臓器提供意思表示カード

※カードの中には家族署名欄があるものもあります。
提供したくない臓器がある場合※を付けます。

例)運転免許証(裏面)

備考

以下の欄に記入することにより、臓器提供に関する意思表示をすることができます。
記入する場合は、1から3までのいずれかの番号を○で囲んでください。

1. 私は、脳死及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植のために臓器を提供します。
2. 私は、心臓が停止した死後に限り、移植のために臓器を提供します。
3. 私は、臓器を提供しません。

(1または2を選んだ方で、)提供したくない臓器があれば、×をつけてください。
【心臓・肺・肝臓・腎臓・脾臓・小腸・眼球】

〔特記欄: 〕 (自筆署名) **熊本 太郎**
〔署名年月日〕 R2年 2月 9日

日本のドナー数は諸外国と比べて圧倒的に少ないのが現状です。
皆様の意思表示が角膜移植につながる第一歩です。
ご理解いただき、生前にご家族でお話し合いの上、意思表示へのご協力をお願い致します。

角膜提供(献眼)の連絡はこちらまで

<担当者が、状況を確認させていただきます。>

(公財)熊本県移植医療推進財団

✚ 熊本赤十字病院 社会課内

☎ 096-384-2111

24時間
受付

2019年賛助会員 ご芳名



アイバンク活動を支えてくださる皆様に深く御礼申し上げます。

皆さまにご協力いただきました賛助会費につきましては、当財団の会費等規定により、全て公益目的事業(移植推進)に用途が定められております。

2020年1月末現在(敬称略・順不同)

■寄付 計 5,300,000 円

一般財団法人 化学及血清療法研究所
熊本県ライオンズクラブ 献眼・献腎・献血運動協力会
熊本赤十字病院



■団体会員 計 28口 280,000 円

医療法人愛育会 福田病院	(5口)	やまのかみ眼科	(1口)
医療法人社団坂梨会 阿蘇温泉病院	(3口)	よねざわ眼科	(1口)
医療法人社団松下会 あげぼのクリニック	(1口)	熊本ライオンズクラブ	(1口)
医療法人かぜ 植木今藤クリニック	(1口)	肥後東ライオンズクラブ	(1口)
医療法人仁治会 緒方眼科医院	(1口)	税理士法人 さくら熊本パートナーズ	(1口)
医療法人社団杏風会 川野病院	(1口)	有限会社 オー・エス収集センター	(1口)
医療法人 眼科古嶋医院	(1口)	有限会社 大和ゴルフ熊本	(1口)
医療法人野尻会 熊本泌尿器科病院	(1口)	匿名希望3名	(各1口)
医療法人社団みどり会 たなか内科眼科	(1口)		
医療法人社団育史会 玉名泌尿器科クリニック	(1口)		
医療法人社団永芳会 永芳医院	(1口)		
医療法人社団恵翔会 わたなべ眼科クリニック	(1口)		

■個人会員 計 139口 417,000 円

井清司 (3口)	岩崎寛智 (2口)	寺田章三 (2口)
上木原宗一 (3口)	大津敬一郎 (2口)	平井克樹 (2口)
坂田鉄太郎 (3口)	榊田裕士 (2口)	平嶋俊郎 (2口)
早野俊一 (3口)	坂口優 (2口)	平田稔彦 (2口)
松金秀暢 (3口)	竹熊与志 (2口)	宮本哲明 (2口)
武藤宏一朗 (3口)	田中秀樹 (2口)	山永成美 (2口)
匿名希望 (3口)	筒井順一郎 (2口)	

赤松薫 (1口)	大塚正法 (1口)	熊谷直樹 (1口)	塚田博年 (1口)	迫文 (1口)	宮川健一郎 (1口)
荒金太 (1口)	大坪太 (1口)	熊野清徳 (1口)	角田隆輔 (1口)	橋本ひとみ (1口)	宮崎亮臣 (1口)
荒木富久美 (1口)	緒方和博 (1口)	桑原謙 (1口)	徳永健一郎 (1口)	長谷川秀 (1口)	宮田昭 (1口)
荒木英行 (1口)	緒方祥介 (1口)	江田正志 (1口)	徳永晴樹 (1口)	林友子 (1口)	宮本和彦 (1口)
有富樹里 (1口)	緒方聖友 (1口)	興相美智子 (1口)	富永智子 (1口)	早田芳男 (1口)	村田貴幸 (1口)
飯星里枝 (1口)	奥野繁樹 (1口)	越山靖夫 (1口)	豊田麻理子 (1口)	東智子 (1口)	山本ゆかり (1口)
池本智一 (1口)	小野美子 (1口)	坂田浩子 (1口)	中村美智子 (1口)	富士登謙司 (1口)	横溝博 (1口)
井上望 (1口)	勝目康裕 (1口)	佐藤喜久枝 (1口)	西名武士 (1口)	古川真斗 (1口)	吉田清美 (1口)
岩下昇平 (1口)	川端知晶 (1口)	佐藤真由美 (1口)	西村真理子 (1口)	松尾繁 (1口)	吉田聡子 (1口)
上野みね子 (1口)	木田哲次 (1口)	佐藤康子 (1口)	西村友李 (1口)	松永正憲 (1口)	吉竹倫賢 (1口)
江藤葉月 (1口)	木下航平 (1口)	城下卓也 (1口)	迫英治 (1口)	松本恵里 (1口)	吉永誠子 (1口)
太田麻美 (1口)	草野雄貴 (1口)	菅原文志 (1口)	迫知世 (1口)	眞鍋哲郎 (1口)	渡真由美 (1口)

匿名希望20名(各1口)

賛助会費のお願い

当財団の運営は、皆さまからの善意やご協力によって事業が行われています。事業の運営を円滑に行うためには、財政的な基盤の強化が急務であるため、賛助会員の募集を積極的におこなっています。当財団へ寄付、賛助会費にご協力いただいた場合、所得控除の優遇措置が受けられます。

皆さまの善意をお寄せください。

法人会員 1口 10,000円

個人会員 1口 3,000円

＜会費等の用途＞

移植医療に関する啓発パンフレット・グッズの作製
提供・移植に向けての連絡調整
献眼の備品調達…等



パンフレット



コインキューブ

郵便振替

郵便局で手数料が
無料になる
専用払込取扱票を
お送りします。

お問い合わせ・資料請求は下記までお電話下さい。
皆さまの温かいご支援をお待ちしています。
公益財団法人 熊本県移植医療推進財団
☎ 096-384-2198 (平日 8:30~17:00)

キャラクター紹介



アイちゃん

よく見ると目の形を
しているんですヨ66

県内の献眼状況

	2019年度累計	2018年度
角膜を提供された方	8名	11名
角膜移植を受けた方 (保存眼含む)	17名	21名
角膜移植を待っている方	120名	105名

2019年12月末現在

寄付型自動販売機



売上の一部を毎月
ご寄付いただいています。

- 社会福祉法人 むべの里 様
- リバテープ製薬株式会社 様
- 独立行政法人 地域医療機能推進機構
熊本総合病院 様

ありがとうございます。

令和元年度財団活動報告

＜熊本市民健康フェスティバル＞

財団のブースを設置し、資料配布と献眼の重要性を
来場者にアピールしました。

日時: 令和元年9月29日(日)

場所: 熊本市総合体育館

